

横手市議会定例会  
市長所信説明

平成30年12月

横手市

## 第2次横手市総合計画

# みんなの力で 未来を拓く 人と地域が<sup>ひら</sup> <sup>かがや</sup> たくましくよこて

### 基本計画 政策・施策

#### 政策1

##### 【健康福祉】

伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます

【施策 1-1】 子育て支援の充実

【施策 1-2】 健康な心と体づくりの推進

【施策 1-3】 健康でいきいきとした高齢社会の推進

【施策 1-4】 障がい者（児）福祉の充実

【施策 1-5】 低所得者福祉の充実

【施策 1-6】 福祉を支える人材の確保と育成

#### 政策2

##### 【教育文化】

学びの充実とスポーツの振興により、生きる力と豊かな心を育みます

【施策 2-1】 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実

【施策 2-2】 安全で安心して学べる教育環境の整備

【施策 2-3】 元気なまちを築く生涯スポーツの促進

【施策 2-4】 活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進

【施策 2-5】 よこての伝統文化の継承と再発見

#### 政策3

##### 【生活環境】

豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます

【施策 3-1】 安心して暮らすことのできるまちづくりの推進

【施策 3-2】 美しい自然環境と快適な生活環境の保全

【施策 3-3】 災害に強いまちづくりの推進

【施策 3-4】 循環型社会の一層の推進

【施策 3-5】 エネルギーの地産地消の推進

#### 政策4

##### 【産業振興】

魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります

【施策 4-1】 魅力ある農林業の振興

【施策 4-2】 活気ある商業の振興

【施策 4-3】 活力ある工業の振興

【施策 4-4】 観光・物産資源の発掘と発信

【施策 4-5】 企業誘致の推進、企業留置と雇用対策

#### 政策5

##### 【建設交通】

暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます

【施策 5-1】 雪国の快適な暮らしの実現

【施策 5-2】 快適な移動空間の実現

【施策 5-3】 市民が利用しやすい公共交通の充実

【施策 5-4】 地域拠点整備による市街地の活性化

【施策 5-5】 安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理

【施策 5-6】 市民がくつろげる公共空間の整備

#### 政策6

##### 【市民協働】

やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます

【施策 6-1】 市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実

【施策 6-2】 男女が尊重し合う社会づくり

【施策 6-3】 情報を共有する環境の整備

【施策 6-4】 市内外との交流連携の推進

#### 政策7

##### 【行政経営】

横手を思い、市民の思いを実現させる創造的な行政経営を進めます

【施策 7-1】 市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の確立

【施策 7-2】 財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進

【施策 7-3】 戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実

## 目 次

1. はじめに.....	1
2. 平成31年度予算編成方針について.....	3
3. 平成30年度事業等の進捗状況について.....	4
(1)横手市増田まんが美術館について.....	4
(2)ふるさと納税返礼割合の見直しについて.....	5
(3)消防団及び消防分署の統合について.....	6
(4)農作物の作柄概況について.....	7
(5)雪対策について.....	9
(6)「横手を学ぶ郷土学」事業について.....	10
(7)組織機構改革について.....	11
4. 補正予算について.....	13
5. おわりに.....	13
※行政一般報告編.....	14

平成30年12月横手市議会定例会の開会にあたり、市政運営に関する基本的な考えとして所信を述べさせていただくとともに、当面する市政の重要課題についてご説明申し上げ、市民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 1. はじめに

今年、日本列島全体を襲った真夏の猛暑や夏から秋にかけて上陸した台風等の影響により、農業被害が断続的に発生いたしました。

9月4日に秋田県を襲った台風21号では、果樹の落果やパイプハウスの倒壊などにより、被害額が7,500万円余りに上ったほか、台風25号から温帯低気圧となった10月の強風により、一部の地域において400万円ほどの損害が生じております。

その他にも、住宅の屋根が破損する等の被害が発生しており、被害にあわれた市民の皆様には、心よりお見舞いを申し上げます。

こうした状況の中、市では、台風21号による農業被害に関し、加工品に回せない落下果実の損失分について支援する落果品対策事業や、被災農業施設の修繕等を促す農業者等復旧支援事業を新たに創設したほか、従来の防除薬剤購入補助事業の助成率を10%から15%に割増しするなど、早期に対策を講じたところであります。

これから降雪期を迎えますが、大雪となった場合でありましても、

雪による被害が最小限に抑えられるよう、関係機関との連携を密にしながら、状況に応じた支援策を検討してまいります。

さて、「よこて農業創生大学事業」につきましては、旧大雄中学校跡地に建設中の園芸拠点施設の工事が順調に進み、10月末現在の進捗率は約45%となりました。

来年4月の開設に伴い、実験農場において実施しております園芸品目の栽培実証や新規就農希望者向けの農業研修などは順次、拠点施設に移行し、実験農場につきましては、種苗の生産供給や育苗研修などを行う施設と位置付け、種苗に関する機能を更に強化することとしております。

施設の名称は、旧大雄中に整備する拠点施設を「園芸振興拠点センター」とし、現在の実験農場を「地域種苗支援センター」とすることで、施設が担う役割や機能を明確に規定したいと考えております。

なお、これまで「よこて農業創生大学事業」の施策として実施してまいりました各種研修事業につきましては、6次産業化支援研修など新たな項目を加えながら、「園芸振興拠点センター」において継続いたします。多くの農業経営者や就農希望者の皆様に学びの場を提供することから、事業名称は「よこて農業創生大学校」とし、農業スキルの習得に向けた様々な研修を展開することといたしました。

た。また、「園芸振興拠点センター」においては、多くの皆様が参加できる“食農教育”に関する取り組み等も実施してまいります。

今後は2つの拠点を核として、農業者の皆様の所得向上と担い手の確保・育成に努め、更なる複合産地化を推進してまいります。

## 2. 平成31年度予算編成方針について

平成31年度の当初予算編成につきましては、市の総合計画・総合戦略に掲げる基本目標である「働く場が充実し、みんなが元気に暮らし続けられるまち」「安心して子どもを産み育てられ、みんなが笑顔で住み続けられるまち」の実現を加速させるべく、新たな課題にも積極的に取り組むよう指示したところであります。

その主な内容であります。引き続き「産業育成・雇用対策」や「若者・子育て世代への支援による人口減少対策」「市民との協働、民間活力を活かしたまちづくり」などに重点的に取り組むほか、今年度も全国的に大規模な自然災害が発生したことを受け、「防災・減災を進め、災害に強い安心して暮らすことのできるまちの実現」を目指すこととしております。また、市民の皆様の生活環境や利便性の更なる向上を図るため、社会基盤の強化策についても継続して検討してまいります。

来年度の歳入につきましては、普通交付税の段階的縮減が2年後

の2020年度まで続くことから、今年度の決定額よりも更に5億円程度の減少が見込まれるなど、引き続き厳しい状況にあります。ふるさと応援基金や公共施設等総合管理推進基金、いわゆるFM基金等を活用することで、必要な財源を確保することとしております。

歳出につきましては、十文字地域小学校統合事業や旧環境保全センター解体事業などの本格着工、雄物川庁舎や十文字地域多目的総合施設の整備のほか、歴史的風致維持向上計画に基づく各種事業などを計画しており、今年度と同程度の予算規模を見込んでおります。

前年度実施事業の行政評価結果を踏まえ、総合計画に基づく各種施策の見直しを図りながら、限りある経営資源の効率的、効果的な活用を推進することで、持続可能な地域社会の構築につなげてまいります。

### **3. 平成30年度事業等の進捗状況について**

#### **(1) 横手市増田まんが美術館について**

横手市増田まんが美術館につきましては、昨年度着工の収蔵展示スペースのリニューアルを中心とした展示工事と、今年5月着工の外装・外構工事が11月末に完了し、約2か年に及んだ大規模改修工事が全て終了する予定であります。

今後は、来年4月20日のプレオープン、5月1日のグランド

オープンに向け、建物内部の展示装飾やオープニング企画展の準備などを進めるとともに、美術館自体の認知度アップを図るべく、効果的なPR戦略を集中的に展開してまいります。

なお、9月15日から10月14日までの間、横手市増田まんが美術財団、横手市観光推進機構、増田町観光協会、そして横手市の4者からなる「横手市マンガ活用事業実行委員会」の主催により、JR仙台駅前の商業ビルにおいてPR企画展を開催いたしました。約150枚の貴重なマンガ原画が壁面を埋め尽くした会場には、900人に上るマンガファンが訪れ、これまでにない迫力ある展覧手法に驚きの声を上げていました。美術館オープン時には、ぜひ横手市を訪れたいとの感想もいただき、美術館の多彩な魅力を存分にPRできたものと考えております。

また、来年3月には、東京・渋谷において、美術館の特徴やリニューアルオープンのPRイベントを開催することで現在、準備を進めており、今後も、美術館の認知度を高め、全国の多くの皆様に当市を訪れていただけるよう、マンガ原画ならではの魅力を強く印象付けられる様々な企画を展開してまいります。

## **(2)ふるさと納税返礼割合の見直しについて**

全国の自治体に対し、ふるさと納税制度における返礼割合を寄附



額の3割以下に見直すよう要請していた総務省では先般、見直しを行わない自治体への寄附は、制度の対象外とする法改正を検討する旨、正式に表明いたしました。

市ではこれまで、返礼割合を4割以下としてきたところではございますが、寄附をいただいた皆様に今後も引き続き当市を応援していただくため、国の方針に従い返礼割合の見直しを実施することといたしました。既に返礼品提供事業者向けの説明会も行い、見直しのための作業を進めており、年明け1月から、全ての返礼品が3割以下の品に切り替わる予定となっております。

なお、今年度のふるさと納税受領額は、10月末時点で約2億4千万円となり、前年同期に比べ約3倍となりました。1月以降については返礼割合見直しの影響が出てくるものと思いますが、米やりんごなど主力返礼品の人気も継続しており、昨年度実績を上回る見込みであります。

### **(3) 消防団及び消防分署の統合について**

市では、平成27年度に消防団組織に関する検討委員会を立ち上げ、団員の減少対策について検討を進めてまいりました。平成28年度からは8消防団の統合について各消防団など関係機関との話し合いを重ね、この度、統合の時期を来年4月1日とすることで協議

が整ったところであります。

消防団の統合により、地域を超えた活動が可能な指揮命令系統が確立され、大規模災害や同時多発的な災害発生時の市全域における対応能力が、更に向上するものと期待しております。

平成28年度より進めております消防分署統合事業につきましては今年度、増田・十文字分署を統合する仮称「南分署」の本体建設工事に着手しており、年度内の完成を目指しております。

また、雄物川・大森大雄分署を統合する仮称「西分署」については現在、建設地の造成工事を行っているところであり、来年度は本体建設工事に着手いたします。

新たな分署庁舎の整備により、防災拠点施設の強靱化が図られるとともに、勤務職員数の充足度を高め機動的な出動体制を確保することで、災害対応機能の更なる強化を図ってまいります。

#### **(4) 農作物の作柄概況について**

農林水産省が公表した10月15日現在の水稻予想収穫量及び作柄概況によると、県南は10アールあたり566キログラムで昨年度比10キログラム減となり、作況指数は「96」の「やや不良」で推移しております。

一方、11月9日現在におけるJA秋田ふるさと管内の一等米比

率は、約97パーセントとなり、昨年と同様の高水準を維持することができました。このことは、農業者の皆様が、集落一体となった一斉防除等を徹底されたことが功を奏したものと考えており、市といたしましても、色彩選別機や産業用ドローン導入補助制度を継続しながら、更なる品質の向上を支援してまいります。

なお、JA全農あきたの今年のアきたこまち一等米60キログラム当たりの概算金は、昨年比800円増の13,100円と、4年連続の増額となりました。29年産米の販売に見通しが立ったことや、30年産米の卸売業者との販売契約状況が順調に進んでいることが、価格の上昇に繋がったものと認識しております。

また、今年度からは、行政による米の生産数量目標の配分が廃止され、JAなど集荷業者及び農業者の皆様が主体となって、需要に応じた生産量を決定する仕組みに変更となりました。市といたしましては、引き続き市農業再生協議会を通じて、農業者の皆様が集荷業者と相談しながら米の生産量を判断できるよう、国や県からの情報を速やかに提供していくこととしております。

次に、園芸作物であります、「すいか」につきましては、5月連休明けからの低温や夏の干ばつによる影響はあったものの、単価が堅調に推移したことから販売額は約11億1千万円となり、JA販売実績は前年比104パーセントとなっております。

「りんご」につきましては、昨シーズンの雪害や秋の台風被害の影響が心配されましたが、農業者の皆様の懸命なご努力により、収穫や出荷作業が順調に進んでおります。今後、出荷の最盛期を迎える主力品種の「ふじ」については、傷による価格の低下が懸念されるところではありますが、全国的な品薄感からくる価格動向もあり、一定の収益が確保されることを期待しております。

また、県が最重点振興作物として位置付ける「しいたけ」につきましては現在、市内の13経営体が、京浜地区中央卸売市場における年間販売量・販売額・販売単価の全国1位を目指す「秋田のしいたけ販売三冠王獲得事業」に取り組んでおります。生産量の大幅拡大を図るべく、総事業費ベースで約8億円を予定しており、県内1位のしいたけ生産量を誇る当市においても協調助成などを継続的に実施し、県やJAなど関係機関の皆様と連携を図りながら、ともに目標の達成を目指してまいります。

## **(5)雪対策について**

今年度の除雪体制につきましては、去る11月1日に除雪対策本部を設置し、同日から出動が可能な体制を整えております。

昨年度は合併後、最大となる累積降雪量を記録したところではありますが、今冬においても8地域に拠点を置くきめ細かな体制のもと、

作業事故のない効率的で効果的な除雪作業を行い、安全な交通の確保に努めてまいります。

また、第2期横手市総合雪対策基本計画の初年度として、引き続き各地域の団体や関係機関等との連携のもと、アクションプログラムの取り組みを着実に推進し、横手市総合計画に掲げる「雪国の快適な暮らしの実現」を図ってまいります。

## (6)「横手を学ぶ郷土学」事業について

市内の児童生徒が横手市全域の歴史や文化を楽しく学び、体験する「横手を学ぶ郷土学」事業につきましては、学校の中だけでなく、様々な地域において積極的に展開しております。

9月14日開催の金澤八幡宮の祭礼におきましては、後継者育成の一環として、練習を重ねた横手北小学校の児童が掛歌を披露したほか、9月23日には浅舞小学校体育館において、市内6小中学校の児童生徒22人と保育園児18人による創作子ども歌舞伎「きわめつき 極付 ごぞんじ 御存知 ごさんねんかわずかつせん 後三年蛙會戦」を上演し、鑑賞した約400人の皆様に後三年合戦の世界を堪能いただきました。第3回を数える「子ども伝統芸能発表大会」については10月13日、市民会館を会場に開催し、日ごろ、目にする機会の少ない地域の伝統芸能の素晴らしさを再認識いただいたところであります。

10月28日には、平泉町及び中尊寺のご理解とご厚意により、また、藤原氏ゆかりの自治体として連携を進めている大館市、美郷町より後援をいただき、中尊寺本堂における創作子ども歌舞伎の上演が実現いたしました。中尊寺の貫首様<sup>かんす</sup>や平泉町長をはじめとする約100人の皆様に、後三年合戦の史実としての重みや市の広域的な取り組みを発信できたものと考えております。

なお、年度当初に、新小学一年生全員に配布しております「よこてだいすき」等のテキストにつきましては、購入希望のお問い合わせを数多くいただいたことから、どなたでも購入できるよう書店での販売を開始いたしました。

今後も、横手の貴重な文化や歴史を身近に感じることができる機会を提供するとともに、ふるさとに誇りと愛着を抱いていただけるよう、地域の伝統を伝える事業を実施してまいります。

## **(7)組織機構改革について**

当市では合併以降、継続的に組織機構改革に取り組んでおり、適宜、政策課題に合わせた再編を進めてきたところであります。現在も人口減少や地域経済に関する様々な課題を抱える当市において、更なる地域価値の創造と市民サービスの向上を実現するためには、機動的かつ戦略的な組織形態を常に模索し、改善し続けることが重

要であります。

来年4月の組織機構につきましては、職員の大量退職が続くことも考慮し、行政組織の一層のスリム化を図りながら、よりスムーズな政策の推進が可能となるよう、主に「部」の構成を見直ししたいと考えております。

具体的には、現在の「総務部」と「総合政策部」を、行政経営を担う「総務企画部」と財政運営を担う「財務部」に改組し、「市民生活部」と「健康福祉部」は、市民の皆様身近な窓口部門を所管する「市民福祉部」として一本化する方向としております。

なお、合併から13年が経過したことを念頭に、本庁と地域局の役割分担についても検討いたしましたが、この度の再編案に組み入れるまでには到りませんでした。地域局のあり方につきましては、今後も鋭意、検討を重ねながら、市の行政組織体のあるべき姿を構築してまいりたい所存であります。

この度の組織再編案は、「部」や「課」などの役割を見直し、行政事務処理等の効率化・簡素化を図る取り組みであり、市民の皆様の各地域庁舎における行政手続きや相談業務等に変化はございませんので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

## 4. 補正予算について

今議会に提案しております一般会計補正予算についてご説明申し上げます。

今回の補正は、子どものための教育・保育給付費、農業経営支援事業、道路橋りょう災害復旧事業などが主な内容となっております。

補正額は、5,352万円の増額で、補正後の歳入歳出予算総額は、550億4,392万円であります。主な事業と事業費を申し上げますと、

◎ 地域介護・福祉空間整備等施設整備事業	850万	円
◎ 子どものための教育・保育給付費	4,302万9千	円
◎ 農業経営支援事業	4,872万4千	円
◎ 道路橋りょう災害復旧事業	9,330万	円

などであります。

## 5. おわりに

今議会に提案しております案件については、報告案件4件、同意案件1件、条例の制定など条例関係10件、指定管理者の指定などその他の案件23件、平成30年度一般会計補正予算案など補正議案9件の合計47件であります。以上、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。所信説明といたします。



# 行政一般報告編

～ 9月議会定例会以降の行事等について ～

# 平成30年9月議会定例会以降の行政一般報告

## 目 次

(1)横手応援市民学校 なべっこ遠足 in 東京 .....	17
(2)ふるさと探訪ツアー .....	17
(3)いぶりがっこ農家応援事業 .....	17
(4)石坂洋次郎文学記念館開館30周年記念事業.....	18
(5)イングリッシュ・アドベンチャー2018.....	18
(6)父親の家庭教育参加促進事業「地図を片手にお父さんと GO！」.....	19
(7)2018 サタデー・イングリッシュ.....	19
(8)家庭教育支援事業「子育て講座」.....	19
(9)横手市生涯学習関係者研修会 .....	20
(10)市民スポーツ交流大会(グラウンドゴルフ大会) .....	20
(11)第3回よこてシティハーフマラソン .....	20
(12)第58回奥羽横断駅伝競走大会 .....	20
(13)平成30年度東京かまくら会総会.....	21
(14)第95回増田の花火 .....	21
(15)第53回りんごまつり .....	22
(16)第33回首都圏増田会総会.....	22
(17)浅舞八幡神社祭典.....	22
(18)福祉健康まつり.....	23
(19)平鹿りんご味覚まつり.....	23
(20)東京平鹿町会総会並びに交流会.....	24
(21)第48回雄物川芸術文化祭.....	24
(22)雄物川地域徘徊見守り講座.....	24
(23)第47回大森地域文化祭 .....	25
(24)「東京都大田区大森」との交流 .....	25
(25)健康の丘おおもりまつり .....	25
(26)十文字西地区の交流センターまつり .....	26
(27)十文字秋の収穫祭2018.....	26
(28)いものこまつりin鶴ヶ池 .....	26
(29)さんない古里会総会 .....	27
(30)第41回山内文化祭 .....	27
(31)山内地域子育て支援ネットワーク委員会啓発事業.....	27
(32)たいゆう緑花園.....	28

## 平成30年9月議会定例会以降の行政一般報告

(33)大雄地域スポーツレクリエーション大会.....	28
(34)第12回大雄芸術文化祭.....	28
(35)集落座談会.....	29
(36)こころの健康づくり講演会.....	29
(37)第2回保育実践力向上研修会.....	30
(38)児童虐待・DV防止講演会.....	30
(39)横手ものづくりネットワーク会議.....	31
(40)第50回よこて菊まつり.....	31
(41)秋田県立増田高等学校生徒によるりんご輸出.....	31
(42)水道事業の実施状況について.....	32
(43)下水道事業の実施状況について.....	32
(44)平鹿田ノ植地区館尻遺跡現地公開.....	32
(45)雄物川郷土資料館第3回特別展「雄物川をめぐる芸術」の開催.....	33
(46)第3回保育実践力向上研修会の開催について.....	33

## 平成30年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>まちづくり推進部</b> <b>(地域づくり支援課)</b>	<p><b>(1)横手応援市民学校 なべっこ遠足 in 東京</b></p> <p>10月7日、ホテルルポール麴町(東京都千代田区)にて、「横手応援市民学校なべっこ遠足 in 東京」を開催し、首都圏在住の10代から80代までの105人にご参加いただきました。</p> <p>給食の授業として、横手市の旬の食材をご賞味いただき、また、横手市の食・雇用・物産・農業などの取り組みを紹介させていただいたほか、特別授業として、本年度、国のモデル事業として取り組んでいる「関係人口」に関する時間を設け、ご参加いただいた皆様に横手との関わり方・応援方法について様々なご提案をいただきました。</p> <p>横手市の応援市民として今後も積極的に関わっていただくお気持ちを強く感じた事業となりました。</p>
<b>まちづくり推進部</b> <b>(地域づくり支援課)</b>	<p><b>(2)ふるさと探訪ツアー</b></p> <p>10月25日から2泊3日の日程で、首都圏横手市ふるさと会連絡協議会主催による「ふるさと探訪ツアー」が開催されました。</p> <p>このツアーは、首都圏在住の横手市出身者が、ふるさとの実情を理解し関心を深めること、また、8地域ごとに設立されているふるさと会の連携強化を図ることを目的として実施され、今回は6回目となります。</p> <p>今回の参加者は、男性36人・女性25人、総勢61人となり、日程1日目の宿泊先となった雄川荘では、市関係者と「ふるさと交流会」で交流を深めました。</p> <p>ツアーでは、皆川嘉左エ門さんが手がけた仁王像がある重福寺や嘉左エ門さんのアトリエを見学したり、大雄交流研修館では「なべっこ遠足」をして、芋の子汁を堪能しました。</p>
<b>まちづくり推進部</b> <b>(地域づくり支援課)</b>	<p><b>(3)いぶりがっこ農家応援事業</b></p> <p>11月2日から4日までの3日間、横手市応援モデル事業として「いぶりがっこ農家応援事業」を実施いたしました。</p> <p>総務省のモデル事業として実施したもので、首都圏等に在住の6人の方々に、実際に大根の収穫・洗浄等の作業を行っていただき、人手不足に悩むいぶりがっこ農家を応援していただきました。</p> <p>全国の横手市出身者やふるさと納税者の方々などの関係人口が、どのように横手に貢献し、地域課題を解決していくかを検証するための貴重な機会となりました。</p>

## 平成30年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<p><b>まちづくり推進部</b> <b>(生涯学習課)</b></p>	<p><b>(4)石坂洋次郎文学記念館開館30周年記念事業</b></p> <p>「原作映画ポスター展 ～映画化された石坂文学～」</p> <p>9月11日から11月25日までの期間、石坂洋次郎文学記念館において、原作映画ポスター展を開催しました。</p> <p>今年度は、石坂洋次郎作品の多くが映画化されていることから、多くの国民が鑑賞し魅了された映画のポスターと、原作の図書資料を中心に展示、紹介しました。今回、県内のポスター収集家より借用した当時の映画ポスターの前では、興味深く見入る来館者が多くみられました。</p> <p>「石坂洋次郎作品朗読会」</p> <p>10月6日、秋田県立横手高等学校美入野記念館を会場に石坂作品朗読会を開催しました。</p> <p>この事業は、開館30周年を記念し、元 ABS アナウンサーの安倍眞壽美さんが主宰する「声のグループ ひいらぎの会」がピアノ演奏とともに、「青い山脈」と「若い娘」を朗読したものです。</p> <p>来場された33人のお客様は、昭和初期の旧校舎の趣きを取り入れた美入野記念館と、素晴らしい朗読に魅了されていました。</p>
<p><b>まちづくり推進部</b> <b>(生涯学習課)</b></p>	<p><b>(5)イングリッシュ・アドベンチャー2018</b></p> <p>9月23日、24日、釣りキチ三平の里体験学習館において、「イングリッシュ・アドベンチャー2018」を開催し、市内の小学5、6年生21人が参加しました。</p> <p>この事業は、体験活動や宿泊体験を通じて、集団生活の中で協調性を養うとともに、活動の中に英語学習を取り入れることで、近年のグローバル化に順応できる国際感覚の育成を図ることを目的としております。</p> <p>講師に、秋田大学の学生や留学生を招き、より本物の英語に近い発音を聞いたり、海外の小学生や高校生とテレビ電話で会話するなど、普段体験できない貴重な時間を過ごしました。</p>

## 平成30年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>まちづくり推進部</b> <b>(生涯学習課)</b>	<p><b>(6)父親の家庭教育参加促進事業「地図を片手にお父さんとGO！」</b></p> <p>10月8日、市内小学校1、2年生とその父親15組を対象に、※ロゲイニングの手法を取り入れた体験イベント「地図を片手にお父さんとGO！」を、横手公園で開催しました。</p> <p>この事業は、父親の家庭教育参加促進による家庭での教育力の向上と、父親同士が子育てについて考え、交流を深める場の創出を目的にしたものです。</p> <p>参加者は、高得点を獲得するための作戦を親子で考え、チェックポイントを探して制限時間ぎりぎりまで走り回っていました。イベント終了後に行ったお父さん同士のミニ懇談会では「貴重な時間が過ごせた」との声が聞かれました。</p> <p>※ロゲイニング・・地図、コンパスを使って、山野に設置されたチェックポイントをできるだけ多く制限時間内にまわり、得られた点数を競う野外スポーツ</p>
<b>まちづくり推進部</b> <b>(生涯学習課)</b>	<p><b>(7)2018 サタデー・イングリッシュ</b></p> <p>10月20日、秋田大学を会場に「2018サタデー・イングリッシュ」を開催しました。</p> <p>市内小学校3、4年生を対象に、英語に親しみ身近な言葉として感じてもらふことを目的とし、今年度3回開催の2回目として、32人の小学生とその保護者12人が参加しました。</p> <p>今回は、秋田大学の学園祭を訪問し、秋田大学の学生と留学生の案内により、色々なブースや催し物を体験し、昼食は学食を利用するなど、参加者のみならず保護者の皆様も貴重な体験をされました。</p> <p>その後の英語学習では、留学生の母国を様々な角度から紹介していただき、参加した小学生たちは、一喜一憂しながら他国の文化を大いに学びました。</p>
<b>まちづくり推進部</b> <b>(生涯学習課)</b>	<p><b>(8)家庭教育支援事業「子育て講座」</b></p> <p>10月12日から11月6日、市内の小学校で行われた就学時健診の際に、保護者を対象とした「子育て講座」を実施しました。</p> <p>家庭での教育力向上を目的とし、今の時期に身に付けておきたい習慣、家庭で心掛けてほしいことなど、学校教育指導員らを講師に招きお話しいただきました。</p> <p>参加者同士で思いを話し合う座談会形式を取り入れた講座もあり、様々な悩みを抱える保護者たちの中には、相槌を打ちながら、目頭を押さえる姿も見られました。</p>

## 平成30年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>まちづくり推進部 (生涯学習課)</b>	<p><b>(9)横手市生涯学習関係者研修会</b></p> <p>11月16日、あさくら館を会場に「横手市生涯学習関係者研修会」を開催しました。</p> <p>この研修会は、市の生涯学習関係者が一堂に会し、当市におけるこれからの生涯学習の方向を探るとともに、関係者のスキルアップを図ることを目的に毎年開催しております。</p> <p>午前中に「秋田の食文化のゆくえ」と題し、秋田大学特別教授の佐々木信子氏による講演と、生涯学習奨励員の日頃の活動発表や公民館主催講座の事例発表を行いました。</p> <p>午後からはワークショップを開催し、様々な立場から生涯学習に携っている方々の声があり、参加者からはいろいろな取り組み方があり参考になった、地域や団体での活動に取り入れていきたいという声も聞かれ、有意義な一日となりました。</p>
<b>まちづくり推進部 (スポーツ振興課)</b>	<p><b>(10)市民スポーツ交流大会(グラウンドゴルフ大会)</b></p> <p>10月4日、赤坂総合公園グラウンドゴルフ場を会場に、スポーツ推進委員が運営主体となり、148人の参加により開催されました。この大会は、健康増進、生涯スポーツの推進を目的に平成24年から開催されています。当日は天気が良く、プレーヤー相互の親睦と地域の交流を深めることが出来ました。</p>
<b>まちづくり推進部 (スポーツ振興課)</b>	<p><b>(11)第3回よこてシティハーフマラソン</b></p> <p>10月14日に第3回よこてシティハーフマラソンが開催され、ゲストとして北京オリンピック日本代表の松宮隆行選手、横手市スポーツ大使の酒井勝充さんをお迎えしました。ランナーは、北は北海道、南は山口県から約1,000人がハーフマラソン、10km、2kmの種目にエントリーし、快晴の中、多くの応援を背に秋の横手路を駆け抜けました。</p>
<b>まちづくり推進部 (スポーツ振興課)</b>	<p><b>(12)第58回奥羽横断駅伝競走大会</b></p> <p>10月27日から28日にかけて、「第58回奥羽横断駅伝競走大会」が行われました。</p> <p>今回は、由利本荘市役所をスタートし横手市、北上市までの117.0km全12区間で競技を行いました。県対抗、一般、高校の部28チームが参加しました。</p> <p>秋の奥羽路を襷をつなぎながら疾走する選手に、沿道から大きな声援が送られました。</p>

## 平成30年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概要等
<p><b>まちづくり推進部 (横手地域局)</b></p>	<p><b>(13)平成30年度東京かまくら会総会</b></p> <p>9月8日、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷にて首都圏在住の横手地域出身者による「東京かまくら会」総会が行われました。本年度は設立30周年にあたり、例年より多数の170人余の参加のもと開催されました。</p> <p>横手市からは市関係者、商工関係者などが出席したほか、友好都市、那珂市の海野徹市長や横手市他地域のふるさと会役員の出席もあり、盛大な会となりました。</p> <p>総会に続く懇親会では横手市役所お囃子連による『横手ばやし(サイサイ囃子)』の演奏で横手の送り盆まつりの様子を再現し、30人余の参加者が輪になって盆踊りを踊り、会場全体が一体感に包まれ、大変な盛り上がりとなりました。</p> <p>また、会場内に設置された「物産販売コーナー」は懐かしい味を求める人でにぎわいました。</p> <p>最後は、ゲストで横手地域出身の歌手『Yukiko』さんとともに会場一体となって「青い山脈」を歌い、来年の再会を約束して閉会となりました。</p>
<p><b>まちづくり推進部 (増田地域局)</b></p>	<p><b>(14)第95回増田の花火</b></p> <p>大正時代から引き継がれてきた県内随一の開催数を誇る「増田の花火」が、一般社団法人増田町観光協会の主催で9月14日に開催されました。</p> <p>天候にも恵まれ平日の開催にも関わらず、約53,000人の観衆に花火を楽しんでいただき、無事打ち上げされた約5,000発の花火が、県内外から訪れた多くの花火ファンを魅了しました。開催にあたり、今年も多くの企業、市民の皆様からご協賛をいただいたことに感謝申し上げます。</p>



## 平成30年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概要等
<b>まちづくり推進部 (増田地域局)</b>	<p><b>(15)第53回りんごまつり</b></p> <p>10月21日、一般社団法人増田町観光協会主催による「第53回りんごまつり」が、真人公園を会場に開催されました。メインイベントのミスりんごコンテストには、市内外から13人の応募があり、うち3人の方が「第53代ミスりんご」に決定しました。今回ミスりんごに選ばれた方々には、今後横手市の観光PR活動などでご活躍いただきます。</p> <p>爽やかな秋晴れの下、会場では、りんごの皮むき競争やリンゴの唄コンテストなど多彩なイベントが行われたほか、来場された600人の中には、わざわざ遠方からりんごや野菜の即売を目当てに訪れるお客様もおり、秋の一日を楽しんでおりました。</p>
<b>まちづくり推進部 (増田地域局)</b>	<p><b>(16)第33回首都圏増田会総会</b></p> <p>11月18日、「第33回首都圏増田会総会」が東京上野の会場において130人あまりの会員の参加により、盛大に開催されました。</p> <p>総会では案件が満場一致で承認され、その後の交流会では、ジャズバンド演奏や会員有志によるカラオケなどのアトラクションが披露されたほか、地元の特産品が当たる大抽選会が行われました。</p> <p>会員の皆さんは、地元増田から駆けつけたお母さん方の作った郷土料理、ふるさとの地酒や漬物に舌鼓を打ち、また、物産品コーナーでは、ふるさとのお土産や食材を買い求めていました。</p> <p>いつでも帰れるようでなかなか帰れなくなったふるさとに思いをさせ、年1回のふるさと会を心待ちにしている会員も多く、時には方言も混じる楽しい会話や笑い声が会場内に響いていました。</p>
<b>まちづくり推進部 (平鹿地域局)</b>	<p><b>(17)浅舞八幡神社祭典</b></p> <p>9月15日、16日の2日間にわたり浅舞八幡神社祭典が開催されました。</p> <p>15日の宵祭りには、旧平鹿地域局前の目抜き通りを歩行者天国にして、豪華絢爛な装飾と人形を築山に配した「飾り山車」10台が一堂に揃い、訪れた約15,000人の来場者は、山車とお囃子の競演で大いに賑わいました。</p> <p>また、手づくり屋台村では、地元商店や街商、フリーマーケットが出店して祭りを盛り上げ、フィナーレには秋の夜空を打ち上げ花火が色鮮やかに彩り、秋の伝統行事を楽しみました。</p> <p>今後も、各町内と連携を図りながら地域に引き継がれる伝統文化の継承に努めてまいります。</p>

## 平成30年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概要等
<p><b>まちづくり推進部 (平鹿地域局)</b></p>	<p><b>(18)福祉健康まつり</b></p> <p>10月16日、ゆとり館において「福祉健康まつり」を開催しました。これは、地域住民の皆様の福祉、健康に対する意識の向上を図ることを目的として毎年開催しているもので、当日は198人の来館者で賑わいました。</p> <p>会場では、保健師による健康チェックや健康相談、栄養士と横手市食生活改善推進員の協力による健康料理の試食のほか、結核予防婦人会による健診勧奨を行い、来館者に健康への関心を高めていただきました。</p> <p>また、健診で来館した乳幼児210人の写真パネル展示や、ひらか支え愛ねっとで作成した活動記録の展示、浴場の無料開放、歌謡ショーを開催し、多くの方々に楽しんでいただきました。</p>
<p><b>まちづくり推進部 (平鹿地域局)</b></p>	<p><b>(19)平鹿りんご味覚まつり</b></p> <p>11月3日、「第18回平鹿りんご味覚まつり」が、ときめき交流センターゆっふる駐車場を会場に開催されました。</p> <p>このイベントは平鹿りんごの産地PRと販路拡大につなげるため、関係自治会、JA秋田ふるさと、県平鹿地域振興局、県果樹試験場の協力を得ながら開催しております。</p> <p>当日は、平鹿りんごの魅力を目と舌で味わっていただくよう、りんごにちなんだクイズ、皮むき競争などのゲームやりんご狩り体験など、沢山のイベントで会場を盛り上げました。</p> <p>また、会場内のテント村では地元農産物の直売や芋の子汁、うどん、そばの販売も行われ大変好評をいただきました。</p> <p>温泉施設「ゆっふる」では、甘い香りのりんごを温泉に浮かべた「りんご風呂」も好評で、多くの来場者に秋の風物詩を楽しんでいただきました。</p>

## 平成30年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概要等
<p><b>まちづくり推進部 (平鹿地域局)</b></p>	<p><b>(20)東京平鹿町会総会並びに交流会</b></p> <p>11月11日、東京都墨田区「東武ホテルレバント東京」において、第44回東京平鹿町会総会並びに交流会が開催されました。当日は来賓や会員約100人が出席し、地酒や懐かしいふるさとの味を堪能しながら地場産品が当たる抽選や歌や踊りの余興などで会員同士交流を深めました。</p> <p>会場内に設置された「ふるさと物産コーナー」では漬物、昆布、豆腐カステラなどが販売され、故郷の懐かしい品々を会員がたくさん買い求めておりました。</p> <p>また、地元で行われているイベントポスターも展示し様々な観光行事を積極的にPRしました。</p> <p>これからも東京平鹿町会と連携を図り、地域を大いに盛り上げてもらえるよう交流を深めてまいります。</p>
<p><b>まちづくり推進部 (雄物川地域局)</b></p>	<p><b>(21)第48回雄物川芸術文化祭</b></p> <p>10月26日から28日までの3日間、雄物川コミュニティセンターを会場に「第48回雄物川芸術文化祭」が開催されました。</p> <p>これは雄物川芸術文化協会主催で行われたもので、雄物川小学校児童作品390点、雄物川高校と横手明峰中学校美術部作品35点、一般の部243点、雄物川町芸術文化協会所属団体の部153点の合計821点の作品が展示されました。</p> <p>28日の芸能発表では10団体151人が出演し、多くの観客を前に日頃の稽古の成果を披露しました。また、特別出演として地元雄物川小学校合唱部、雄物川高校吹奏楽部が日頃の鍛錬の成果を発表しました。</p>
<p><b>まちづくり推進部 (雄物川地域局)</b></p>	<p><b>(22)雄物川地域徘徊見守り講座</b></p> <p>10月19日、雄物川保健センターを会場に「雄物川地域徘徊見守り講座」を開催しました。これは、市地域包括支援センターと連携して開催したもので、認知症を理解し、徘徊者とその家族を見守る地域のネットワークの向上を目指すことを目的としたものです。</p> <p>民生児童委員や社会福祉協議会雄物川福祉センター、介護事業所、地域住民の皆様、合わせて55人の参加がありました。</p> <p>職員による寸劇では徘徊者への対処法を学び、曾根医院の曾根院長による講演では認知症についての正しい知識を学びました。</p> <p>また、日赤雄物川分団による炊き出し訓練も行われ、参加された皆様に災害への備えを意識してもらった良い機会となりました。</p>

## 平成30年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>まちづくり推進部 (大森地域局)</b>	<p><b>(23)第47回大森地域文化祭</b></p> <p>10月20日から28日まで、大森コミュニティセンターにおいて大森地域文化祭が開催されました。会場には、大森小学校児童の習字や絵画のほか、市民の皆様による押絵や生け花など多くの作品が出品され、来場者は作品をじっくり鑑賞し芸術の秋を満喫していました。期間中には、大森町芸術文化協会会員46組による「芸能発表会」が行われ、唄や踊りなど日頃の練習の成果を披露し、来場者より盛大な拍手が送られていました。</p>
<b>まちづくり推進部 (大森地域局)</b>	<p><b>(24)「東京都大田区大森」との交流</b></p> <p>大田区大森とは、地名が縁で小学生交流や物産販売を平成6年から続けています。10月26日に大田区大森町共栄会商店街での農産物販売、11月3日、4日は「OTAふれあいフェスタ2018」にて、安全・安心な「秋田・大森産農産物」をPRするとともに、大森町共栄会事務局と交流を深めました。</p> <p>「秋田・大森産農産物」を待ち望んでいる区民の方も多く、各販売会での売り上げに加え、野菜宅配便の受注も増加しております。</p>
<b>まちづくり推進部 (大森地域局)</b>	<p><b>(25)健康の丘おおもりまつり</b></p> <p>10月27日に大森病院、保健センター、県南部シルバーエリアを会場に、健康の丘おおもりまつりが開催されました。健康の丘おおもりを構成する施設を中心に、地域住民の皆様と健康について学びながら、楽しい時間を過ごしていただくよう開催しています。</p> <p>当日は家族連れなど多くの来場者があり、大森病院長の講演やブラボー中谷さんのマジックショー、大森元気大使を務める小田島純子さんによる民謡ショーなどを楽しみました。また、秋田県出身力士・豪風関の師匠でありテレビ・ラジオの相撲解説でおなじみの尾車部屋・尾車浩一氏が、自らのケガを必死に乗り越え相撲道にまい進してきた経験を「八勝七敗の人生」と題して講演し、会場を訪れたお客様は感激した様子で聞き入っていました。</p> <p>健康の丘おおもりは、開設から20年を迎えました。おおもりまつり終了後には、大森温泉さくら荘で関係者等による20周年記念祝賀会が開催され、開設からの歴史を振り返りながら、地域包括ケアの拠点として今後のますますの発展を祈念しました。</p>

## 平成30年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概要等
<b>まちづくり推進部 (十文字地域局)</b>	<p><b>(26)十文字西地区の交流センターまつり</b></p> <p>10月21日、十文字西地区交流センターにおいて、「第1回交流センターまつり」が開催されました。このイベントは植田・睦合両地区統合の交流センター化において念願の事業であり、地域の文化祭と言えるべきものとなります。</p> <p>ホールでは、婦人講座等で作成した手芸やごてんまりの他、十文字和紙の作品や俳句等の各種クラブによる盛りだくさんの作品が展示されました。</p> <p>ステージ発表では地域の保育所の園児や小学校の児童によるよさこいや合唱等の披露に盛大な拍手が送られ、中でも秋田住みます芸人である桂三河氏による落語寄席では爆笑を誘っていました。</p> <p>当日は天候にも恵まれ、老若男女約400人の市民の皆様で盛大ににぎわいました。</p>
<b>まちづくり推進部 (十文字地域局)</b>	<p><b>(27)十文字秋の収穫祭2018</b></p> <p>11月4日、晴天のなか、道の駅十文字を会場に「十文字秋の収穫祭2018」が開催され、約3,000人が訪れました。</p> <p>新そばと新米の試食会、豚汁の振る舞いが行われたほか、メインイベントとして県内各地のよさこい団体16チームによる迫力満点のパフォーマンスが披露され会場は熱気に包まれました。最後に行われた十文字秋の収穫祭定番のイベントである麺まき・餅まき・お菓子まきには、子供から大人まで参加し大いに賑わいました。</p>
<b>まちづくり推進部 (山内地域局)</b>	<p><b>(28)いものこまつりin鶴ヶ池</b></p> <p>9月16日、山内地域の活性化と産業振興を図るため、「第32回いものこまつり in 鶴ヶ池」が鶴ヶ池公園ふれあい広場を会場に開催され、約40,000人の来場者でにぎわいました。</p> <p>当日は「いものこ」をはじめとした特産品の販売が行われ、山内名物の「いものこ汁」は、用意した4,000食が完売するなど大盛況となりました。</p> <p>また、全国いものこピラミッド競技大会には、市内外から36組が出場し熱戦が繰り広げられたほか、地元の芸術文化協会による歌や踊り、市内4団体のよさこい演舞や、タレントによるものまね、歌のステージショーが行われるなど、多彩なイベントが会場を盛り上げました。</p> <p>夜の花火大会は、鶴ヶ池の水面を彩る迫力満点の水中花火、スターメインなど約3,200発の花火を楽しんでいただきました。</p>

## 平成30年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>まちづくり推進部 (山内地域局)</b>	<p><b>(29)さんない古里会総会</b></p> <p>11月4日、「第31回さんない古里会総会」が東京都内で開催され、117人が参加しました。</p> <p>参加者は久しぶりの再会とあって、故郷山内の思い出や近況などについて大いに語り合っていました。また、会場内では、「ふるさと物産展」も開催され、大変好評でした。</p> <p>総会には、横手市から山内区長会5人のほか、同期会で古里会会員募集のチラシ配布にご協力いただいた同期会実行委員や市民の方々など、合わせて20人が参加し、会員の皆様との交流を深めました。</p> <p>また、懇親会のアトラクションとして、横手市出身のサクソ奏者小川千帆さんのサクソ演奏が披露され、会場は大いに盛り上がりました。</p>
<b>まちづくり推進部 (山内地域局)</b>	<p><b>(30)第41回山内文化祭</b></p> <p>10月20日、21日、山内体育館を会場に「第41回山内文化祭」が開催され、363人に参加いただきました。絵画、書、手工芸などの展示部門には、園児・小学生から158点、一般から286点の合計444点の作品が出展されました。</p> <p>20日の芸能発表では、9団体65人が日頃の練習の成果を披露し、会場に詰めかけた観客から盛んな拍手が送られていました。</p>
<b>まちづくり推進部 (山内地域局)</b>	<p><b>(31)山内地域子育て支援ネットワーク委員会啓発事業</b></p> <p>11月7日、山内小学校を会場に、山内地域子育て支援ネットワーク委員会の啓発事業として、プロサッカーJ3リーグに所属するブラウブリッツ秋田の岩瀬浩介代表取締役社長による講演会と、同チームの選手と山内小児童とのサッカー交流が開催されました。</p> <p>岩瀬社長の講演会では、「目標、夢を持つことの大切さ」と題して、目標を持ち努力することや夢を諦めずやり抜くことの大切さを熱く語りかけ、山内小児童123人と保護者や地域の皆様など30人が聞き入りました。</p> <p>サッカー交流では、岩瀬社長のほかブラウブリッツ秋田の選手・コーチ5人が試合形式でドリブルやパスなどプロ選手のプレーを披露し、サッカーの楽しさに触れた児童たちは大いに夢を膨らませている様子でした。</p>

## 平成30年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概要等
<b>まちづくり推進部 (大雄地域局)</b>	<p><b>(32)たいゆう緑花園</b></p> <p>「たいゆう緑花園」は今年で20周年を迎え、6月に地域の方々やたいゆう保育園児、及び大雄小学校児童からご協力をいただき、約1.5ヘクタールの敷地にベコニア、マリーゴールド、サルビア、日日草など7種類の花を定植しました。</p> <p>関連イベントとして、8月26日に20組の参加者で「たいゆう緑花園」のPR等情報発信を目的に「ドローンスクール」を開催しました。また、市内各所(横手城、たいゆう緑花園、ホップ畑等)をドローンにて空撮し、市ホームページに掲載しました。</p> <p>9月1日には、「たいゆう緑花園パノラマフェスタ」を開催し、たいゆう保育園児のオープニングダンスをはじめ、宝さがし、苗木プレゼント等に500人が訪れ、大変賑わいました。</p> <p>11月24日には、今年で13回目となる「押し花コンテスト」を開催することとしており、応募作品は、来年1月末日まで「ゆとりおん大雄」に展示いたします。</p>
<b>まちづくり推進部 (大雄地域局)</b>	<p><b>(33)大雄地域スポーツレクリエーション大会</b></p> <p>10月6日、楽天イーグルススタジアム大雄を会場に「2018大雄地域スポーツレクリエーション大会」が開催されました。</p> <p>この大会は、地域住民の皆様がスポーツに親しみながら世代を超えた地域交流を図ることを目的に開催しているものです。</p> <p>当日は、快晴のなか、市民の皆様約500人が参加し、気持ち良い汗を流しました。また、婦人会と火災予防組合による、炊き出し訓練が行われ、スポーツを楽しんだ参加者にいものこ汁が振る舞われました。</p>
<b>まちづくり推進部 (大雄地域局)</b>	<p><b>(34)第12回大雄芸術文化祭</b></p> <p>10月19日から10月23日までの5日間、大雄交流研修館と大雄農業団地センターを会場に、大雄芸術文化祭実行委員会主催の「第12回大雄芸術文化祭」が開催されました。</p> <p>19日から行われた作品展示には、写真や書道をはじめとする力作66点余りが展示され、多くの皆様に鑑賞していただきました。</p> <p>また、20日にはステージ発表が行われ、約200人の観客を前に37組の団体と個人、延べ140人が日頃の稽古の成果を披露しました。</p>

## 平成30年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>まちづくり推進部 (大雄地域局)</b>	<p><b>(35)集落座談会</b></p> <p>8月10日から9月6日まで、大雄地域内の32会場で「集落座談会」を開催しました。これは、毎年、地区会議と共催で行っているもので、今年で11回目となります。各集落とも夜間の開催でしたが、計220人のご参加をいただき、事前に集落の皆様から考えていただいた集落の課題や要望事項について意見交換を行いました。</p> <p>地域住民の皆様と意見交換をした数は313件であり、いただいた要望や意見は関係部署と検討のうえ、今後の地域づくりに活かしてまいります。</p>
<b>まちづくり推進部 (大雄地域局)</b>	<p><b>(36)こころの健康づくり講演会</b></p> <p>10月5日、ふれあいホールを会場に秋田大学大学院 准教授佐々木久長 氏を講師に迎えて「自殺を予防するために地域(私たち)に出来ること」をテーマに講演をしていただきました。</p> <p>県と同様に横手市の自殺率も高く、大雄地域でも毎年数名の方が自殺で亡くなる現状から、地域で「生きること」について考え、地域の皆様と一緒に自殺予防に取り組むことを目的に開催したものです。</p> <p>当日は大雄地域の皆様をはじめ、関係団体の方々にも大勢参加していただき、人との関わりを持つことの大切さや、周囲の人への声掛けで自殺を防ぐことが出来る事を学び、参加者が気になる人への声掛けなど自分で出来ることからやっという気持ちを持っていただくことが出来ました。</p>



## 平成30年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>健康福祉部</b> <b>(子育て支援課)</b>	<p><b>(37)第2回保育実践力向上研修会</b></p> <p>10月18日、沼館保育園・雄物川保育園及び雄物川コミュニティセンターを会場に、学校教育課と子育て支援課の共催による「第2回保育実践力向上研修会」を開催し、小学校、保育所、認定こども園等から67人の参加がありました。</p> <p>保育士等の保育力の向上を図るため、2園で行われた公開保育では設定されたねらいと振り返りの視点を意識しながら参観し、グループ協議では年齢に応じた「子どもの育ち」と「保育者の関わり」について意見交換を行いました。</p> <p>また、「子どもの学びを支える保育者の援助」と題した、秋田県南教育事務所指導主事 井上英樹氏の講義では、幼児が遊びを通じて自ら意欲を高め、気づきや工夫をし、仲間と関わり合えるように、保育者は年齢に応じた発達の特徴を理解した上で幼児の活動からその内面を見取り、意図を持って遊び(学び)の環境を構成し幼児の自己発揮を援助することが大切であると、保育参観での実例を踏まえて説明して頂きました。</p> <p>参加者は、各自持ち寄った週案のねらいについて、各年齢の発達に即して意図的な環境構成と保育者の援助が計画されていたか、また実施して効果的であったかを振り返ることにより、改めて自らの保育を見直す研修になりました。</p>
<b>健康福祉部</b> <b>(子育て支援課)</b>	<p><b>(38)児童虐待・DV防止講演会</b></p> <p>11月は、国の「児童虐待防止推進月間」及び県の「DV防止推進月間」です。これに合わせて、11月3日に平鹿生涯学習センターを会場に、児童虐待やDVのない社会を目指すことを目的として「児童虐待・DV防止講演会」を開催しました。</p> <p>講演に先立ち、当日の午前には、国際ソロプチミスト横手のご協力をいただき、秋田ふるさと村を訪れた多くの方に、児童虐待防止及びDV防止の啓発チラシを配布いたしました。</p> <p>午後からは、脳科学者の澤口俊之教授を講師に迎えて、「子どもの脳をいかに育むか」と題する講演を行っていただいたところ、約200人にお越しいただきました。</p> <p>最新の脳科学の研究に基づいた内容で、みなさんからの質問にもお答えしていただくなど、大変参考になる講演をしていただき、児童虐待防止及びDV防止の意識の高揚を図るよい一日となりました。</p>

## 平成30年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概要等
<b>商工観光部</b> <b>(企業誘致室)</b>	<p><b>(39)横手ものづくりネットワーク会議</b></p> <p>11月1日、当市の産業振興を活性化するため、市内企業の本社、親会社、取引先等を対象に、東京都千代田区の「アルカディア市ヶ谷」において、第6回横手ものづくりネットワーク会議を開催しました。</p> <p>当日は40企業、8団体から78人の参加があり、当市のプレゼンテーション、市内企業1社と県外企業1社によるプレゼンテーション及び横手市産業振興アドバイザー佐藤登氏や横手市企業支援アドバイザー松井康氏を交えたディスカッションに引き続き、横手市産の食材を使ったビュッフェ形式による交流会を開催し、情報交換を行いました。</p>
<b>商工観光部</b> <b>(観光おもてなし課)</b>	<p><b>(40)第50回よこて菊まつり</b></p> <p>第50回よこて菊まつりが10月27日から11月5日までの10日間の日程で、秋田ふるさと村を会場に開催され、約22,000人が来場しました。</p> <p>会場内では約2,500鉢の菊花が展示されたほか、開催50周年を記念し、秋田市出身の現代美術家 鴻池朋子氏がデザインした「6本足のオオカミ」を玉菊でアートし、訪れる観光客を魅了しました。</p>
<b>商工観光部</b> <b>(横手の魅力営業課)</b>	<p><b>(41)秋田県立増田高等学校生徒によるりんご輸出</b></p> <p>11月12日、秋田県立増田高等学校において、同校農業科学科果樹専攻班3年生10人が栽培管理したりんごを、タイバンコクの百貨店に輸出する出発式を開催しました。</p> <p>生徒自ら栽培管理から収穫及び梱包までを行った農産物を輸出する取り組みは、秋田県内農業系高校では初めての取り組みとなります。増田高等学校で生産されたりんごが、タイバンコクの百貨店まで安定した物流、販路先を確保できるよう、増田高等学校、ヤマトグループ、本市の3者が協同で生徒の支援を行ってまいりました。</p> <p>生徒たちにとっては、地元からでも世界の消費者と繋がれる喜び、達成感を体験するとともに、地元産品の素晴らしさや郷土愛を再認識する貴重な機会となりました。</p>

## 平成30年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>上下水道部</b> <b>(水道課)</b>	<p><b>(42)水道事業の実施状況について</b></p> <p>今年度実施している水道配水管整備事業については、市内21カ所で実施しており、年内には大雄耳取地区配水管布設替工事など15カ所が完成予定です。冬期間も実施する工事については、関係者との協議や施工管理の徹底により安全な工事に努めてまいります。</p> <p>施設整備については、施設の老朽化や統廃合を考慮し、安定的な水道事業を目指して昨年度策定した「横手市水道計画(変更)」の実施計画に基づき事業をすすめているところですが、今年度は(仮称)雄物川浄水場建設に向け、関係機関との協議や取水地点の調査、水源調査などを開始しております。</p> <p>また、水道の広報活動の一環として、小学生向けの出前授業を開催しています。9月26日には大森小学校に出向き、4年生を対象に「水道水が出来るまで」をスライドを使ってクイズ形式でわかりやすく授業を行い、理解を深めていただきました。</p>
<b>上下水道部</b> <b>(下水道課)</b>	<p><b>(43)下水道事業の実施状況について</b></p> <p>今年度実施している下水道管渠築造工事については、横手伏山・六ノ口地区及び三本柳地区は1月、三枚橋土地区画整理事業地内及び平鹿馬鞍地区は3月に完了する予定です。</p> <p>農業集落排水事業大森地区の大森・十日町・本郷処理区の統合については、基本計画を策定し、事業採択に向け関係機関と協議を進めています。</p> <p>また、10月20日、道の駅十文字を会場に、下水道フェアを開催しました。これは、下水道をより知っていただけるよう企画したもので、水洗化相談コーナーやカラーマンホールの展示、汚泥肥料「森のつち」やマンホール蓋の缶バッチのプレゼントなどで大いに賑わいをみせました。</p>
<b>教育総務部</b> <b>(文化財保護課)</b>	<p><b>(44)平鹿田ノ植地区館尻遺跡現地公開</b></p> <p>9月26日に平鹿田ノ植地区の県営ほ場整備事業に伴う緊急発掘調査を実施した館尻遺跡において現地公開を行いました。2, 300もの柱穴、木棺を伴う墓、多くの井戸や区画などが確認されました。鎌倉時代から安土桃山時代までの集落と考えられ、吉田城と非常に関わりが深いものです。50人程の見学者は、小野寺氏以前の平賀氏との関連について、興味深く聞いていました。</p>

## 平成30年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>教育総務部</b> <b>(文化財保護課)</b>	<p><b>(45)雄物川郷土資料館第3回特別展「雄物川をめぐる芸術」の開催</b></p> <p>雄物川郷土資料館では、「発掘された秋田の古墳時代」に続き10月13日から秋田公立美術大学教員三人による「雄物川をめぐる芸術～美の水脈をもとめて～」を開催しています。秋田の自然を現代の視点で再解釈し、漆工芸、陶彫や野焼き、染織の技を駆使して表現に取り組んだ作品が展示されています。来館者の皆様には、伝統的な技術による現代的表現を楽しんでいただいております。</p>
<b>教育指導部</b> <b>(学校教育課)</b>	<p><b>(46)第3回保育実践力向上研修会の開催について</b></p> <p>11月6日に、学校教育課と子育て支援課の共催による、小学校、保育所及び認定こども園の教職員を対象とした横手市幼児教育推進体制構築事業における「第3回保育実践力向上研修会」を開催しました。</p> <p>今回の研修会では、小学校と保育所等における子どもの育ちと学びの連続性への理解を深めるために、雄物川小学校において1年生と沼館及び雄物川両保育園の年長児との授業交流を公開しました。</p> <p>その後、雄物川コミュニティセンターにおいて、山内小学校とさんない保育園との連携の取組紹介を行うと共に、秋田県南教育事務所指導主事を講師にむかえ小学校と保育所等教職員混合のグループ討議を行いました。</p> <p>参加者からは共に考える貴重な時間になったと好評でした。</p>